
 信頼 創造 奉仕	<b>製 品 仕 様</b>	3 版	2 / 3
	<b>燃料ガス用超音波流量計</b> <b>(外部電源 24VDC仕様)</b>	型 式	UX[口径]-0DC-[流れ方向]

警報出力	<p>オープンドレイン出力1系統  積算値上限警報、流量上下限警報（ボタン操作によりいずれかを選択）</p> <p>積算値上限警報  1hあたりの積算流量が、設定された積算流量上限値を上回ったときに警報信号を出力する。（通信により積算流量上限値は設定可）  ※1hの計測は電源投入時より開始する。</p> <p>流量上下限警報出力  瞬時流量が、設定された流量を上回った、または下回ったときに警報信号を出力する（ボタン操作により、警報出力上下限流量および警報判定値ヒステリシス幅の設定可）</p>
電流出力	<p>出力方式       : 吐き出し方式  出力精度       : 表示値に対し±0.1mA  負荷抵抗       : 400Ω以下</p> <p>瞬時流量選択時  ゼロ出力電流: 4mA（逆流〜フローカットOFF）  出力電流上限: 22mA（22mAでクリップ）  フルスケール流量設定: 6 m<sup>3</sup>/h（設定可能）</p> <p>温度選択時  出力方式       : 4mA: -10℃, 20mA: +60℃  出力電流下限: 2mA（2mAでクリップ）  出力電流上限: 22mA（22mAでクリップ）</p>
通信	<p>通信方式       : 半二重通信方式（RS485通信）  通信速度       : 4800bps、9600bps（許容範囲: ±1.0%）  同期方式       : 調歩同期式  ビット構成     : 8ビット、パリティなし、ストップビット長1ビット  ビット伝送順序: b1からb7の順序（低位優先送出）  エラー制御     : CRC</p> <p>※詳細な通信仕様は、下記URLより登録してダウンロードをして下さい  <a href="http://www.aichitokei.co.jp/products/14_s_sonic/ux/">http://www.aichitokei.co.jp/products/14_s_sonic/ux/</a></p>
対象流体	都市ガス（13A）、ブタン（ブタン70%、プロパン30%）、 プロパン（プロパン98%、ブタン2%）、窒素
使用流体温度	-10~+60℃
使用圧力	0~100kPa（ゲージ圧）
使用環境温度	-10~+60℃ 90%RH以下（結露なきこと）
保存環境温度	-20~+70℃ 90%RH以下（結露なきこと）
供給電源	24VDC（21.6~26.4VDC） 消費電力: 2W以下
流れ方向	表示部に対して右入りまたは左入りの選択可。ただし受注時に決定し、お客様での変更は不可。（矢印で指示された方向を正とする。）
取付姿勢	水平もしくは垂直（表示部が下向き、ケーブル導入部が上向きは、取り付け不可）
圧力損失	200Pa以下（都市ガス13A、標準大気圧+2.5kPa、最大流量時）
保護構造	IP64（JIS C0920:防塵、防まつ形）屋外設置可能

 信頼 創造 奉仕	<b>製 品 仕 様</b>		3 版	3 / 3
	<b>燃料ガス用超音波流量計 (外部電源24VDC仕様)</b>	型 式	UX[口径]-0DC-[流れ方向]	

質 量 1. 6 k g

材 質 ○計測部 エンジニアリングプラスチック ( P P S など)、アルミニウム合金  
 ○外ケース アルミニウム合金  
 表示部ケース アルミニウム合金 ※○印は接ガス材質です。

標準使用期間 1 0 年 ( 環境温度 2 0 ° C、環境湿度 6 5 % R H において )  
 ※保証期間とは異なります。

## 2. 取扱上の注意

### 2-1. 設置環境

- ( 1 ) 耐候性の高い電子表示器を採用しておりますが、直射日光の当たる場所に設置される場合は、日よけを設けて下さい。
- ( 2 ) 電磁ノイズの多い場所、腐食性雰囲気、湿度が高く結露しやすい場所への設置は避けて下さい。
- ( 3 ) 本製品は屋外設置可能ですが、水没の恐れがある場所や、常時水がかかる場所への設置は避けて下さい。
- ( 4 ) 筐体と G N D は電氣的に共通となっています。必要に応じてアイソレートされた電源、外部接続機器をご使用下さい。
- ( 5 ) ATEX ( 防爆 ) 指令 ( 2014/34/EU ) に準拠しておりません。可燃性のガス等の雰囲気では使用しないでください。

### 2-2. 配管条件

- ( 1 ) ミスト、ガス等が多く含まれる場合は、垂直配管での設置をお願いします。なお、屋外設置の場合、表示部が下向きおよびケーブル導入部が上向きとなる設置はできません。